

化学委員会・物理委員会合同結晶学分科会（第23期・第3回）、化学委員会 IUCr 分科会（第23期・第3回）合同分科会議事録（案）

日時：平成28年12月21日14時30分～15時30分

場所：日本学術会議5階会議室5-C(2)

出席者：阿久津典子(webex 参加)、入江正治、上村みどり、栗原和枝、黒田玲子、
今野美智子、菅原正、菅原洋子、高田昌樹、高原淳、藤井保彦、山縣ゆり子
早稲田嘉夫

議題：

(1) 第二回議事録確認

(2) IUCr 分科会関連

1) ICSU/ISSC 統合について

かねてより懸案であった the international council for science と the international social science council が統合したとの、Sweden の Swen Lidin 氏からの報告が紹介された。

2) General assembly で決定される会長、ECメンバーのノミネーション状況について

2017年8月にインドのハイデラバードで開催される国際結晶学連合会総会において、次の総会まで3年間の執行部の改選が行われる。

新会長、新副会長として、それぞれ3名と2名の候補者がノミネートされた。そのうち、日本からは、会長候補として Sweden の Sven Lidin 氏を、副会長候補として Canada の Hanna Dabkowska 氏を、理事候補として日本より高田昌樹 IUCr 分科会委員長を推薦している。

3) IUCr2017 への代表派遣

2017年8月にインドのハイデラバードで国際結晶学連合総会が、国際結晶学連合会議と同時開催される。平成29年度代表派遣会議として国際結晶学連合会議を推薦することとした。なお、日本は4票の議決権を持つことから、下記の4名を派遣候補者とする事とした。

奥部真樹（日本結晶学会庶務幹事；東北大准教授）

上村みどり（日本学術会議結晶学分科会幹事；帝人ファーマ課長）

高田昌樹（日本学術会議 IUCr 分科会委員長、IUCr 理事、東北大学教授）

中川敦（日本結晶学会評議員、大阪大学教授）

4) IUCrCommissions の活動報告について

日本は、IUCr の19分野別委員会すべてにメンバーまたはコンサルタントとしてはいており、活動を支えている。12月時点で寄せられた13委員会からの活

動状況報告がなされた。

(3) 今後の活動方針

1) マスタープラン 2017 について

2017 年 1 月に第 23 期「学術の大型研究計画に関するマスタープラン」(マスタープラン 2017) が公表される。大型放射光、中性子等の案件についてヒアリングが既に行われた。前回のマスタープランの大型放射光の提案に関連した動きとして、11 月 7 日より、文科省の量子科学技術委員会量子ビーム利用推進小委員会が開催された。

2) 次期第 24 期の会員および連携会員の推薦が(2/1~2/5)に締切

- ・若手、女性（比率 30%の実現）、産業界・実務家に配慮することが望まれている
- ・中国、四国地区の会員が少ないので、これらの地域に配慮した人選。
でお願いしたい。
- ・学協会からも、推薦依頼がきていると思うが、会員推薦のほうが推薦のプライオリティーは高い。学協会は、情報提供という位置づけになる。
結晶学は、物理からもでてくるので、推薦者は重ならないようにお願いしたい。
- ・新会員については、2017 年 5 月~6 月に名簿決定、7 月総会で認定。

2) 次回の会議（第 24 期第 1 回委員会）は分子科学研究所所長招聘会議（2018 年 5 月頃を予定）ののちに実施されるので、2018 年 12 月になる予定。

以上